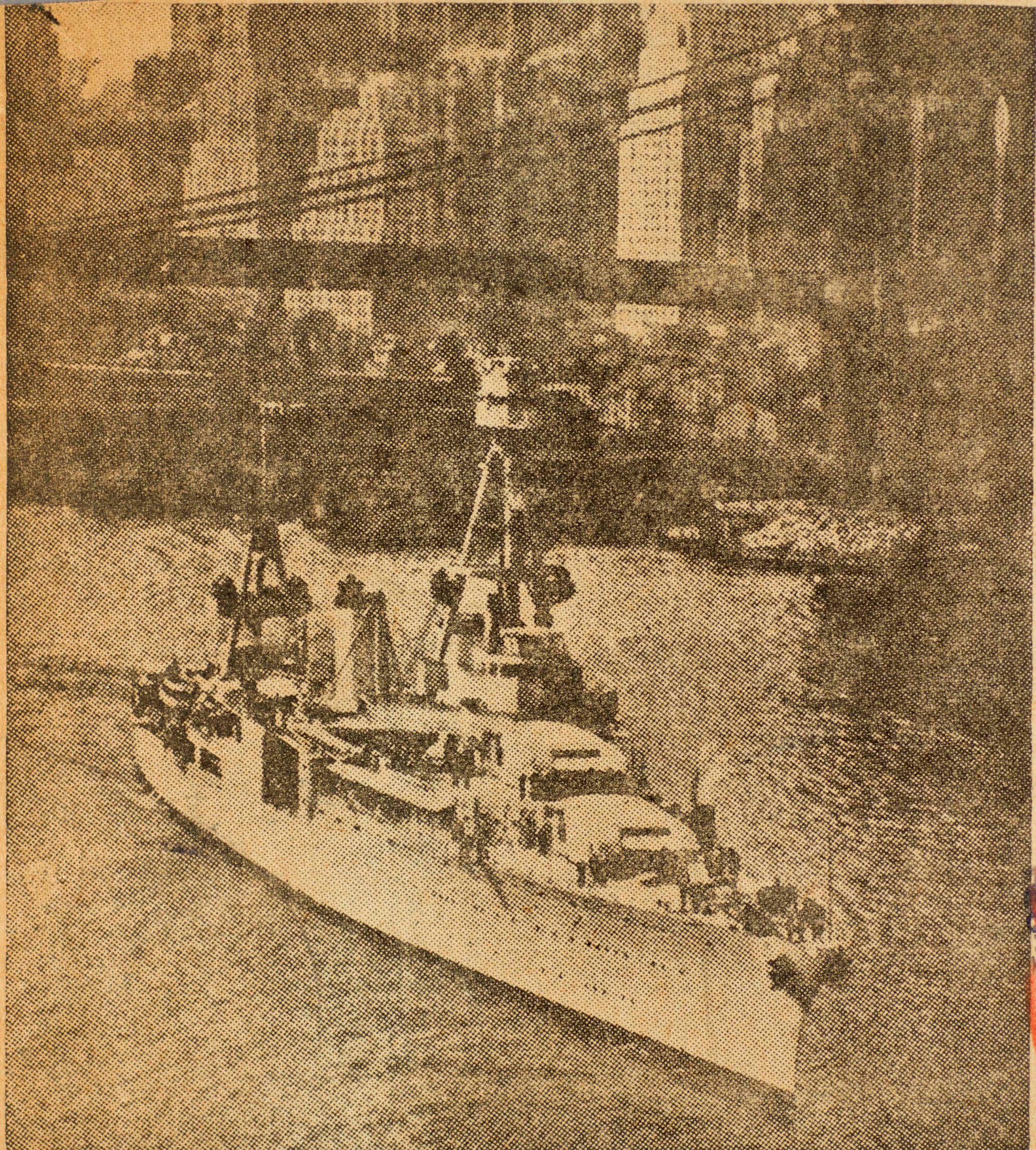


MAR

濠洲シボニ至りて入港した米艦隊旗艦シカゴ號の雄姿



重慶側輸血路補充に苦慮

【ニューヨーク十九日同盟】最大の援蔣輸血路、緬公路を我が空軍の制壓下に殆んど半身不隨にされてしまつた重慶政權は目下これを補足すべきルート開設につき苦慮中と云はれるが十九日附ニューヨーク・タイムス重慶電は次ぎのやうに西南支那から印度に通ずる新ルート

大並びに沿道宿驛その他一切の交通統制に當ることになつた

重慶政府 改組問題

八中全會を控へ また一揉め

【香港十九日同盟】八中全會の召集を間近に控へ重慶政界では蔣介石、何應欽、戴天仇、孫科、陳立夫等を中心に國民黨内各分派に於て頻りに個別的集會を催し時局對策につき協議すると

トの調査を開始したと報じてゐる、當地支那人技師の一團は十八日重慶發西康省南部に向け出した、この技師團は四川省西南隅の西昌から印度東部アサツム地方のサジャヤに通ずる公路建設につきその調査測量を行ふ筈である、新公路竣工の

在任中

か、永年米領内に安住すこととに限りなき感謝を覺同時に報恩の氣持に燃焼してゐるのである。而して米の間が如何に緊迫しよとこの地を離れずここを墓の地となすべく決意しゐるのである。更に今日の緊迫せる時局に於てすら、日本政府そのものの對米態度は依然として不變にて、終始日米兩間の親善を希求してゐる國間には外交的に解決出ぬ問題は全く皆無である國側より手を出さぬ限り本の方から喧嘩をしかけ

こととは絶対にないとは、村駐米大使も度々言明しゐる所である。これに對し米國でも大體感にて、日本の言明より

WIKI7.001